

平成12年5月10日

## DLJdirect SFG 証券口座および取引状況のお知らせ (2000年4月末)

インターネット・トレーディング専門証券会社のディーエルジェイディレクト・エスエフジー証券株式会社（代表取締役：國重惇史、本社：東京都千代田区；以下「DLJdirect」）は、2000年4月末現在の顧客口座開設数、取引および預かり資産の状況を発表いたします。

項目	2000年 4月	2000年 3月
口座数	51,491	47,351
稼動口座数 <sup>*1</sup>	30,553	27,227
1日あたり平均注文件数 <sup>*2</sup>	11,325	9,759
1日あたり平均約定件数 <sup>*3</sup>	5,856	5,511
1日あたり平均売買代金（百万円） <sup>*4</sup>	8,421	8,982
預かり資産残高（百万円） <sup>*5</sup>	238,946	231,724

<sup>\*1</sup> 過去1年間において預かり資産が存在または一回以上の取引のあった口座数を指します

<sup>\*2</sup> 訂正・取消注文を除いた注文件数となります

<sup>\*3</sup> 一件の注文において複数の約定が成立した場合の内出来件数も含まれます

<sup>\*4</sup> 外貨建て取引（現在のところ米ドルのみ）を含みます

<sup>\*5</sup> 外貨建て預かり資産（現在のところ米ドルのみ）を含みます

2000年4月は、口座数の伸びはやや鈍化したものの、注文件数と約定件数は堅調な伸びを示しました。また、iモードキャンペーンにより、iモードからの注文件数は、前月では全注文件数の約15%で推移していたものが、4月には約25%程度まで増加し、弊社にとって“モバイルトレーディング”は今やパソコンに次ぐ大きなチャネルとなっています。尚、口座数伸びの鈍化は、システムキャパシティとの兼ね合いから広告宣伝を手控えたことが影響したものです。また、1日あたり平均売買代金がやや減少しているのは、一部の情報通信関連値高株が値下がりした影響を受けたものと思われる。

4月には、投資信託商品の追加（大和投信の武蔵と0101、ゴールドマンサックス投信の一寸法師）を行いました。また、5月中旬からの新サービスとして、完全なりリアルタイム情報サービスを実現した「マーケットスピード」の発表を行いました。

DLJdirectは、1999年3月に設立され、同年6月11日よりサービスを開始した日本初のインターネット・トレーディング専門の証券会社です。DLJdirect Japan Holdings Inc.、住友銀行、さくら銀行、インターネットイニシアティブ、住友商事、住友海上火災保険、住友信託銀行、住友生命保険が株主となっています。